

## (8) 八西ブロック (八幡浜市、伊方町)

### ～産地づくり～

「美味しいみかんづくり」と「連年安定生産による生産量確保」を、生き残りをかけた産地の目標として掲げ、消費者はもとより「かんきつ」を取り巻く関係者に信頼されるブランド産地を維持できるよう、「うんしゅうみかん」の売上100億円、特産「清見」などの中晩柑類の売上50億円の目標を連年で達成していけるよう、組織連携を強化して「柑橘王国えひめ」を支える日本一のブランド産地の維持・発展を目指します。

### ～戦略品目や産地づくりの方向～

#### ○生産基盤整備の推進

##### 1 南予用水施設の整備

###### 【取組】

- ①畑地かんがい施設の整備
- ②既存水利施設の老朽化対策の推進
- ③マルドリ施設の整備

###### 【成果】

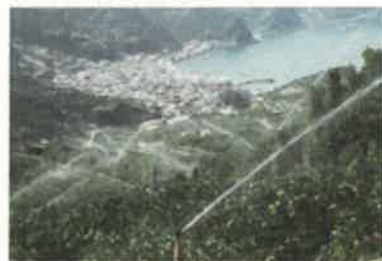
- ①畑地かんがい施設：1地区（高野地）
  - ②・基幹水利施設：  
4地区（八幡浜西南、八幡浜北、保内、三崎）  
・末端施設：  
8地区（灘、日土、川永田、真穴(第1・2・3)、瀬戸(第1・2)）
  - ③マルドリ施設：2地区（真穴第1・2）
- ##### 2 生産拡大に向けた施設整備等

###### 【取組】

- ①国・県・市町の補助事業の活用を促進
- ②鳥獣害防止対策施設（鉄筋柵、電気柵）の整備

###### 【成果】

- ①・園内作業道の整備：25園地：2,643m(果樹経)  
・かん水施設(スプリンクラー、点滴かん水)：55,160㎡(果樹経)  
・単軌道施設の整備：9,432m、動力車52台、台車77台(果樹経)  
・モノラック動力車・台車の導入：動力車22台、台車33台(未来型)
- ②・鉄筋柵の設置：  
八幡浜：37園地：4,630枚(鳥獣害防止)  
・電気柵の設置：25園地：25セット(鳥獣害防止)



スプリンクラーかん水



南水利用の新規マルドリ設置園



Sマルチモデル園

#### ○日本一のブランドみかん産地の維持・発展

##### 1 温州みかんの高品質・安定生産対策

###### 【取組】

- ①マルチ被覆及びマルドリ栽培の導入・普及
- ②南柑20号の浮皮防止対策の普及

###### 【成果】

- ①・マルチ被覆面積：301ha  
・マルドリ栽培：7.7ha(真穴新規分)、管内延べ22.5ha  
・Sマルチモデル園設置(八幡浜市高野地)
- ②浮皮対策(ジベレリン+ジャスモン酸散布)実施面積：66ha  
(R4実績)

##### 2 中晩柑品種の導入と安定生産対策・販売促進

###### 【取組】

- ・県オリジナル品種「紅まどonna」「甘平」の生産拡大と品質向上

###### 【成果】

- ・紅まどonna雨よけハウス設置：6箇所-2,331㎡(未来型)
- ・優良品種への改植：85園地：96,518㎡(果樹経)



マルドリ現地栽培講習会

## ○日本一のブランドみかん産地の維持・発展

### 3 海外輸出

#### 【取組】

- ・防除暦の見直しと指導を実施するなど、かんきつの海外輸出を支援

#### 【成果】

- ・台湾向け輸出：温州みかん：1.6t（前年1.4t）  
甘平：2.1t（前年2.1t）

### 4 GAP取得と普及

#### 【取組】

- ・農業者・農業生産法人に対し、GAP取得のための内部審査や研修会を実施するなど、GAPの取得を啓発・支援

#### 【成果】

- ・GAP取得を検討している組織：1組織
- ・GAP取得に向け取組中の組織：2組織
- ・GAP取得に向けた支援の内容：更新に向けた指導延べ6回

### 5 南予地域農業遺産推進協議会の活動支援

#### 【取組】

- ・世界農業遺産登録に向けた活動を展開

#### 【成果】

- ・一次の書類審査(8/25)通過後、現地調査実施(10/21)
- ・二次審査実施(12/19農水省内)
- ・道の駅「八幡浜みなと」にみかんオブジェを設置
- ・八協柑橘共同選果部会 日本農業賞優秀賞を受賞



GAPに取組む法人への支援



世界農業遺産2次審査会

## ○未来型かんきつ生産に向けたスマート営農体系の確立

### 1 推進体制の整備

#### 【取組】

- ・西宇和スマート農業推進協議会の活動支援

#### 【成果】

- ・西宇和スマート農業推進協議会総会開催（5/10）
- ・検討会他：3回

### 2 スマート農業技術体系の実証

#### 【取組】

- ①気象ロボットによる栽培管理の最適化
- ②AI選果機による選果作業の省力化
- ③簡易アシストスーツによる疲労度軽減
- ④スマート農業技術導入による経営上の効果分析

#### 【成果】

- ①気象ロボットについて、土壌水分等モニタリングによる適正な栽培管理を実施
- ②・AI選果機について、JA研修園の収穫物を選果することで、実用化に向けた課題を抽出、選果精度の向上を目指したプログラムの改良等を実施
  - ・静岡県へスマート農業先進地視察研修(2/28)
- ③簡易アシストスーツ実用性検討会の開催（7/1）、現地での着用体験を通じた普及啓発活動を実施
- ④実証農家8戸の経営データ、作業日誌、ほ場環境データからスマート営農体系での経営指標を作成

### 3 スマート農業技術の普及促進

#### 【取組】

- ・技術普及に向けた情報発信

#### 【成果】

- ・スマート農業フォーラムの開催：1回（出席者54名）
- ・農業高校生に対するスマート農業研修会の開催：2回
- ・みかんマイスター講座（JAにしうわ女性部主催）：1回
- ・民放テレビ局の取材対応：1回
- ・農業団体等の視察への対応：10回
- ・シトラス講座によるPR(ドローン)



管内農家へのAI選果機導入事例(B型選果機)



アシストスーツ実用化検討会



西宇和スマートフォーラム



## ○地域特有の戦略的品目による産地の牽引

### 1 地域特産「清見」のブランド力向上

#### 【取組】

- ①果皮障害軽減に向けた技術の推進
- ②販売促進活動
- ③販路拡大

#### 【成果】

- ①加消ム剤散布の効果を示した資料を農家に配布
- ②大型商業施設・百貨店で販売会を実施（5/21、5/25～31）
- ③商談先に産地PR動画とサンプルを送付：8件

### 2 温暖化に対応した「川田温州」のブランド化

#### 【取組】

- ①連年安定生産に有効な半樹別交互結実技術の確立と普及
- ②新たな栽培者の掘り起し
- ③生産推進協議会・プロジェクトチームによる活動

#### 【成果】

- ①・生産量：21t（前年32t）  
・半樹別交互結実の普及状況：15件の農家が導入中
- ②栽培講習会の実施（4回）により確保した新規栽培者：1人
- ③実証圃の調査報告や販売量を確認

### 3 県オリジナル品種「甘平」のブランド化

#### 【取組】

- ①防除暦の見直しを実施するなど、海外輸出を推進
- ②愛媛Queenスプラッシュ（QS）合格率の向上

#### 【成果】

- ①台湾への輸出：2.1t（前年2.1t）
- ②QS合格率：0.7%（前年1%）

### 4 新たなフィンガーライム産地づくり

#### 【取組】

- ①高品質・安定生産技術の確立
- ②流通・販路の拡大支援
- ③産地化に向けた情報共有

#### 【成果】

- ①・栽培先進地域への情報収集活動：1回（長野県）  
・土壌分析の実施：9圃地
- ②・加工品の開発支援：2品目  
・実需者の要望把握：1件（神奈川県）  
・出荷基準の検討調査
- ③・産地化検討会の開催：1回  
・協議会活動への情報提供：2回



清見の販売促進



清見の果皮障害試験



フィンガーライム産地化検討会



かんきつの海外輸出検討会

## ～地域づくり～

地域農業者が主体となった就農支援チームを各地区に設立し、移住就農者を確保・育成するとともに、集落営農法人の設立支援や新規就農者、大規模認定農業者、法人経営体の育成を通して、全国有数のかんきつ産地を次世代に継承します。

また、集落機能を維持するために、地域資源の保全活動はもとより、担い手の負担軽減を図るための安定した労働力の確保に向け、働きやすい農村環境を整備します。

## ～推進対象や地域づくりの方向～

### ○新規就農者の確保・育成

#### 1 新規就農者等の確保

#### 【取組】

- ①研修制度や補助事業の説明会の開催
- ②就農フェアの参加(オンライン)及び就農相談等の実施

#### 【成果】

- ① 制度及び支援事業説明会：3回
- ① JA研修者：8人
- ② 就農フェアの参加  
東京3回、大阪1回、県内3回
- ② 就農相談者：51人
- ①②新規就農者数：25人(内、新規参入者7人)



就農相談会への参加  
(西宇和みかん支援隊)

## ○新規就農者の確保・育成

### 2 新規就農者の定着率向上

#### 【取組】

- ①CATVによるシトラス講座の配信
- ②栽培技術研修の開催
- ③次世代人材投資事業（開始型）受給者に対する支援

#### 【成果】

- ①・シトラス講座実施回数：6回  
（先進農家事例、ドローン、農作業安全、せん定等）  
・YouTube視聴回数：62,693回(R2～)
- ②栽培技術研修参加者：12人
- ③H30年度就農者定着率：100%

### 3 地区就農支援チームの設立及び移住就農支援

#### 【取組】

- ①就農支援チームの設立支援
- ②収穫体験研修などによる移住就農支援

#### 【成果】

- ①・新規支援チームの設立：1地区（高野地）  
・新規支援チーム設立に向けた検討会：2回
- ②農業体験者数：9人(7組)

### 4 青年農業者活動の支援

#### 【取組】

- ①プロジェクト活動支援
- ②出前授業の実施
- ③移住就農者の確保活動
- ④各種交流会・研修会の実施

#### 【成果】

- ①プロジェクト活動実施組織：7組織
- ②出前授業実施対象校：8校(訪問で実施)  
（東京都内小学校：対象児童数381人、松山市内小学校：対象児童数562人）
- ③就農相談会の参加と就農PR動画放映
- ④川之石高校との情報交換会  
放任園の伐採活動実施(三崎地区)



シトラス講座・摘果講習会



新規就農者の定着率向上を  
目的とした農業交流セミナー



新規就農者の定着(久保氏)  
毎日農業記録賞最優秀賞



高野地担い手支援チーム設立総会



青年農業者の出前講座



一輪車の電動化で省力に

## ○雇用労働力の確保によるブランド産地の維持・発展

### 1 収穫支援アルバイト・ボランティアの確保

#### 【取組】

- ①雇用労働力の確保
- ②雇用促進協議会の活動支援

#### 【成果】

- ①・西宇和みかん支援隊スタッフ会：12回  
・アルバイト受入の申し合わせ事項周知  
・アルバイト1人につきPCR検査、抗原検査を実施（600人）  
・管内の県外アルバイト：604人(延べ24,160人)  
・有償ボランティア参加者数：577人
- ②新規雇用促進協議会の設立：1地区（伊方町伊方）

### 2 労働環境の改善

#### 【取組】

- ①宿泊施設の整備と掘り起こし
- ②園地トイレ施設の整備
- ③農作業軽減事例集の作成

#### 【成果】

- ①・宿泊施設の整備：2件（三崎地区保育所跡地の改修、伊方地区の住宅改修）  
・管内宿泊施設：管内計18件
- ②園地トイレ整備：2基（伊方町三崎、八幡浜市向灘地区）
- ③・農作業軽減事例の収集(5事例)
- ③・農作業軽減事例集の作成



## ○経営モデルの育成による産地振興

### 1 大規模経営体の育成指導

#### 【取組】

- ①説明会の開催やサポートセンターとの連携による法人化の推進・育成
- ②資金相談の実施

#### 【成果】

- ①新規法人化経営体数：2経営体
- ②相談対応(経営改善計画作成)：6件

### 2 6次産業化への取組支援

#### 【取組】

- ①新規商品の開発・改良に対する支援の実施
- ②販路開拓に対する支援の実施
- ③産直市での販売支援

#### 【成果】

- ①加工品の開発支援：3件
- ②・6次産業内製化支援事業による機械整備支援：1件
  - ・第4回ガルメイン世界マーマレードアワード&フェスティバル日本大会出展数：1,641点、4/17表彰式(みなっと9周年記念イベントと同時開催)
  - ・県内飲食店とのマッチング支援：2件
  - ・加工品の販売支援：3回
- ③八日市への参加：2事業者延べ10回

### 3 集落営農推進による担い手への農地集積

#### 【取組】

- ・かんきつ地帯の集落営農支援

#### 【成果】

- ・西宇和地域柑橘集落営農組織支援協議会の開催(5月、3月)
- ・モデル園での研修：2回(5、2月)
- ・先進地視察：基盤整備取組事例(松山市興居島9/29)  
マルドリ利用及び園地整備(山口県周防大島町10/11)
- ・経営研修会の実施：2回(延べ20名参加)
- ・法人化セミナー：農事組合法人の取組状況紹介(9/21)
- ・新規就農者の確保：首都圏の就農相談会へ出展(1、2月)

### 4 一次産業女子の活動支援

#### 【取組】

- ・一次産業女子組織「∞農Harvest」等の組織活動支援

#### 【成果】

- ・一次産業女子組織「∞農Harvest」会員数：12人
- ・研修会の開催(商品開発研修、情報発信研修、先進地視察研修)
- ・マルシェ等への出店支援
- ・首都圏での就農相談会や八幡浜市での農業体験ツアーにおいて、農業や地域のPRを実施

### 5 農地流動化・農地維持活動等の支援

#### 【取組】

- ・多面的機能に関する各種事業等により、各組織の共同活動を支援

#### 【成果】

- ・実施された共同活動  
多面的機能支払交付金  
八幡浜市 29,606千円(12組織、985ha)  
伊方町 10,085千円(12組織、346ha)  
中山間地域等直接支払交付金  
八幡浜市 295,907千円(44協定、2,146ha)  
伊方町 69,586千円(31協定、617ha)



大規模経営体の優良品例  
株式会社ニューズ  
全国優良経営体表彰  
働き方改革部門・農水大臣賞



第4回マーマレード大会  
金賞受賞作品



集落営農：  
ワークショップによる検討



マルドリモデル園研修会  
(笑柑園ナカウラ)



∞農Harvest設立総会